



平成27年1月14日

海上保安庁

海賊対策に係る海上保安庁航空機のミャンマー及びフィリピンへの派遣について

海上保安庁では、海賊等緊急事案発生時に対応するための国際飛行能力の維持・向上及び海賊行為の発生する蓋然性が高い海域（公海）の巡視警戒等を目的として、平成13年から東南アジア各国へ航空機を派遣しています。

今回は、ミャンマー連邦共和国及びフィリピン共和国へ当庁航空機及び幹部を派遣いたします。

派遣国では、関係機関との海賊対策を含む海上保安に係る意見交換を実施し、更なる連携協力関係を推進していくこととしています。

なお、当庁航空機のミャンマーへの派遣は初めてであり、関係機関の表敬訪問等に加え、体験飛行を実施する予定です。

1. 派遣航空機

第十一管区海上保安本部那覇航空基地所属
ファルコン900「ちゅらわし」



全長	20.3メートル
全高	7.6メートル
全幅	19.3メートル
速力	502ノット

2. 派遣者

竹田 聡 海上保安庁総務部参事官（警備・救難担当）
他15名（搭乗員含む）

3. 派遣国（寄港地）

- （1）ミャンマー連邦共和国（ヤンゴン、ネピドー）
- （2）フィリピン共和国（マニラ）

4. 日程等

- 1月19日 羽田発、ヤンゴン着
- 1月20日 ミャンマー運輸省海事局長表敬・意見交換
- 1月21日 体験飛行（ヤンゴン～ネピドー）
ミャンマー運輸省、内務省幹部表敬
- 1月22日 ミャンマー内務省海上警察隊長官表敬・意見交換
- 1月23日 ネピドー発、マニラ着
フィリピン沿岸警備隊長官表敬・意見交換
マニラ発、羽田着

※第十一管区海上保安本部において同時広報いたします。